

外科学（乳腺外科学－Breast Surgery－）

I 教育の基本方針

本講座の理念である真「腫瘍学の真理の探求」、善「謙虚たる人材の育成」、美「アートとしてのがん治療の創造」を追求すべく、診療・教育・研究を実践できる人材の養成。

II 年次毎の到達目標

1年次	乳腺疾患について幅広い知識を習得し、手術手技を身につける。
2年次	乳癌の病態に関する研究の手法を修得し、研究計画を立案する。 当院並びに関連病院において診断と治療を修得する。
3年次	計画に則って研究を実施し一定の成果を目指す。
4年次	研究成果を論文に著し、学位を取得する。

III 担当教員・研究テーマ

教授	井本 滋	センチネルリンパ節生検の臨床試験 宿主癌免疫動態の解明 バイオマーカーによる乳癌治療の個別化 ラジオ波焼灼治療による非切除治療の開発
----	------	---

IV 研究指導補助教員

講師 麻賀創太
講師 伊坂泰嗣

V 授業科目一覧

種別	科目名	単位	開講時期	標準履修年次
講義・演習	講義・演習	4	半期	1年次
実験・実習	実験・実習	8	通年	2年次又は、 1－2年次
専門分野 共通科目	課題研究	8	通年	3年次又は、 2－3年次
	研究論文演習	4	通年	3年次又は、 4年次

開講年度	2021	開講時期	半期	標準履修年次	1年次	単位	4
科目名	講義・演習						
担当教員	井本滋						
曜日・時限等	春学期： 月曜日 4・5時限（15：00－16：30・16：45－18：15） 秋学期： 月曜日 4・5時限（15：00－16：30・16：45－18：15）						
教室等	S-3カンファレンスルーム						
教育の基本方針	広い見地に立った研究を遂行できるよう、乳腺外科学において必要とされる専門知識と技能を培う。						
到達目標	1. 乳癌の病態と治療について理解を深める。 2. 専門領域に細分化された外科学の基礎、臨床のエッセンスを理解し、知識を幅広く求める。						
学習内容	乳腺外科学に関する最新の英語原著論文を抄読し、研究目的、方法、結果について理解し、当該研究の意義、問題点、残された課題について討論する。						
授業計画	回数	講義内容				春学期	秋学期
	第1回	乳癌の疫学				04/05	09/27
	第2回	乳癌の病態学				04/12	10/04
	第3回	乳癌の予後予測因子				04/19	10/11
	第4回	乳癌の効果予測因子				04/26	10/18
	第5回	臨床統計総論				05/10	10/25
	第6回	乳癌の診断				05/17	11/01
	第7回	臨床試験総論				05/24	11/08
	第8回	乳癌の手術				05/31	11/15
	第9回	乳癌の薬物療法				06/07	11/22
	第10回	乳癌の放射線療法				06/14	11/29
	第11回	乳癌の低侵襲治療				06/21	12/06
	第12回	ゲイトラインとメタアナリシス				06/28	12/13
	第13回	腫瘍免疫学				07/05	12/20
	第14回	最新医療への取り組み				07/12	01/17
	第15回	まとめ				07/19	01/24
次回講義の開始時に前回講義内容の要点を振り返る。							
準備学習と授業外の学習方法	授業計画のテーマについて事前に文献などを調べてくること。 学習指導書等に挙げた文献・参考書等を学期中に読むこと。 専門領域における他科のカンファレンスに参加し知識を深める。 CITI Japan(e-learning)の医学研究者標準コース(15単元)を受講すること。						
学習指導書 (テキスト・参考文献等)	Disease of the Breast						
成績評価方法	講義内容についてのレポート提出 (50%) 口頭試問の実施 (50%)						
成績評価基準	25ページ「9.成績評価」又は、以下URLの「5.成績評価」を参照 http://www.kyorin-u.ac.jp/univ/graduate/medicine/aboutus/outline/						
備考	上記の日時に参加できない者は、協議の上で具体的な時間割を決定する。 質問等の受付は随時。						

開 講 年 度	2021	開 講 時 期	通 年	標 準 履 修 年 次	2年次又は、1-2年次	単 位	8
科 目 名	実験・実習						
担 当 教 員	研究テーマにより決定する。						
曜 日 ・ 時 限 等	原則として、毎週月・水曜日の午前中（1・2時限） ※参加が難しい場合には各ケースで協議のうえ具体的な時間割を決定する。						
教 室 等	S-3カンファレンスルーム、手術室、S-3病棟、外来						
教 育 の 基 本 方 針	広い見地に立った研究を遂行できるよう、乳腺外科学において必要とされる専門知識と技能を培い、適切な情報の収集と分析ができるようになる。						
到 達 目 標	1. 乳腺内分泌疾患の手術手技を見につける。 2. 問診を行い検査法・治療法の選択ができる。 3. 臨床例の症例報告ができる。						
授 業 計 画	第 1-30回 到達目標1～2の達成 第31-60回 到達目標3の達成 到達目標の進捗状況に応じて習得した知識と課題を整理する。						
準 備 学 習 と 授 業 外 の 学 習 方 法	学習した実験手技を繰り返し行い、安定で信頼性の高い技術を修得する。 研究テーマに沿った原著論文を読み疑問点を抽出すること。 学習指導書等に挙げた文献・参考書等を学期中に読むこと。 専門領域における他科のカンファレンスに参加し知識を深める。						
学 習 指 導 書 (テキスト・参考文献等)	Disease of the Breast						
成 績 評 価 方 法	実験内容のレポート提出（50%）ならびに口頭試問の実施（50%）						
成 績 評 価 基 準	25ページ「9.成績評価」又は、以下URLの「5.成績評価」を参照 http://www.kyorin-u.ac.jp/univ/graduate/medicine/aboutus/outline/						
備 考	上記の日時に参加できない者は、協議の上で具体的な時間割を決定する。 質問等の受付は随時。						

開講年度	2021	開講時期	通年	標準履修年次	3年次又は、2-3年次	単位	8
科目名	課題研究						
担当教員	研究テーマにより決定する。						
曜日・時限等	履修者の研究内容によって個別に指導を行う。 ※参加が難しい場合には各ケースで協議のうえ具体的な時間割を決定する。						
教室等	S-3カンファレンスルーム、手術室、S-3病棟、外来						
教育の基本方針	広い見地に立った研究を遂行できるよう、消化器外科学において必要とされる専門知識と技能を培い、適切な情報の収集と分析ができるようになる。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自らが立案した研究計画にそって研究を実行できる。 2. 正しく統計処理ができる。 3. 結果を科学的に図表にまとめられる。 4. 実験内容を正しく記載し記録できる。 5. 追加実験を自分で立案できる。 6. 学会や医学研究科の研究報告会で発表できる。 						
学習内容	研究テーマにより決定する。						
授業計画	第 1- 10回 先行研究について 第 11- 15回 研究方法の検討 第 16- 99回 実験実施と検討 第100-120回 追加実験の検討 到達目標の進捗状況に応じて習得した知識と課題を整理する。						
準備学習と授業外の学習方法	学習した実験手技を繰り返し行い、安定で信頼性の高い技術を修得する。 研究テーマに沿った原著論文を読み疑問点を抽出すること。 学習指導書等に挙げた文献・参考書等を学期中に読むこと。 専門領域における他科のカンファレンスに参加し知識を深める。						
学習指導書 (テキスト・参考文献等)	Disease of the Breast						
成績評価方法	研究成果の発表 (100%)						
成績評価基準	25ページ「9.成績評価」又は、以下URLの「5.成績評価」を参照 http://www.kyorin-u.ac.jp/univ/graduate/medicine/aboutus/outline/						
備考	上記の日時に参加できない者は、協議の上で具体的な時間割を決定する。 質問等の受付は随時。						

開講年度	2021	開講時期	通年	標準履修年次	3年次又は、4年次	単位	4
科目名	研究論文演習						
担当教員	研究テーマにより決定する。						
曜日・時限等	履修者の研究内容によって個別に指導を行う。 ※各ケースで協議のうえ具体的な時間割を決定する。						
教室等	S-3カンファレンスルーム、手術室、S-3病棟、外来						
教育の基本方針	研究テーマに関する実験・調査を反映させた研究計画を立てて、実際に研究を行い、デその結果をまとめ、論旨をもって発表することを学ぶ。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 研究の成果を原著論文とする。 2. 国内外の学会、ポスターセッション、症例報告会等で発表を行い、質問者からの問いに適切に答えられるようにする。 3. 博士論文の完成 						
学習内容	研究テーマにより決定する。						
授業計画	第 1- 5回 論文データ収集 第 6-10回 引用可能な文献の選抜 第11-15回 論文の全体の流れの確認。 第16-30回 学位論文作成 到達目標の進捗状況に応じて習得した知識と課題を整理する。						
準備学習と授業外の学習方法	今回指導した内容に基づき次回までに論文原稿の当該箇所を修正しておくこと。						
学習指導書 (テキスト・参考文献等)	Disease of the Breast						
成績評価方法	論文の作成 (100%)						
成績評価基準	25ページ「9.成績評価」又は、以下URLの「5.成績評価」を参照 http://www.kyorin-u.ac.jp/univ/graduate/medicine/aboutus/outline/						
備考	上記の日時に参加できない者は、協議の上で具体的な時間割を決定する。 質問等の受付は随時。						